

## 2019 年度 事業計画書

### I 実施方針

1. 公益財団法人 動物臨床医学研究所は“学術及び科学技術の振興”と“人と動物の共生の探求及び動物愛護思想の啓発・普及”の二大事業を目標に掲げかつ、それらの二大事業に関連した諸事業のさらなる充実を目指して、着実な事業展開を実施する。
2. “学術及び科学技術の振興”を目的とする主事業の「動物臨床医学会」は、2019 年度に第 40 回動物臨床医学会記念年次大会を迎える。第 36 回年次大会よりスタートした「獣医総合臨床認定医制度」も 5 年目となるため、2019 年度第 40 回記念年次大会において認定試験問題作成委員により作成した試験問題を用いて、受験資格に達した者に試験を実施し、本邦初の獣医総合臨床認定医資格の認定証発行に向けて具体的な対応をする。
3. 臨床獣医学で大きく諸外国に遅れをとっている分野は、遺伝病である。我国では、遺伝病に対する研究や、検査体制が不十分であるため 2017 年度の事業計画又、第 38 回動物臨床医学会年次大会の中に「動物遺伝子疾患研究会」を立ち上げ設立記念シンポジウムを開催した。2018 年度は、さらに鹿児島大学等との共同研究を進めた。さらに共同研究の 3 年目となる 2019 年度は共同研究の事業を継続し、検査、診断、治療法の具体的な開発を進める。
4. 全国の動物看護師及び動物看護専門学校に所属している教員の資格は未だに不定で、その上、教育機関の教員の質には大きなギャップがある。昨年度に引き続き本年度もパラメディカル分野の向上発展に寄与する事業を進める。具体例として一般社団法人日本動物看護職協会との間で、パラメディカル分野に関連するセミナー等を協同開催する。さらに、動物看護師の公的資格化に向け、関係機関への支援を行う。
5. 動物医療における診断・治療薬、機器等の開発と技術の確立を昨年に引き続き推し進める。
6. “人と動物の共生の探求及び動物愛護思想の啓発・普及”事業の充実のため、動物保護施設“人と動物の未来センター・アミティエ(鳥取県動物愛護センター)”の更なる施設の充実を図る。2019 年度は、昨年度の新館完成に伴う周辺整備と、猫舎の増設、さらにドッグランの柵の改修に引き続き周辺の植栽に重点を置く。
7. 獣医師や動物関連の職域の方々に役立つ里親の元へ出た猫の写真集を出版する。

## Ⅱ 事業別の対応

### 公益目的事業 1

学術及び科学技術の振興を目的とする事業

- 1) 獣医学術の振興・普及及び向上のため、動物臨床医学会の開催及び運営、動物臨床医学会誌及び、動物臨床医学会年次大会プロシーディングを発行し、他学会、研究会との連携及び運営支援、獣医学術における功労者表彰や研究会等の運営を行う。

さらに、平成 27 年度立ち上げた「獣医総合臨床認定医」制度（附属資料 p21-26 参照）を広めると共に、より学会の充実を図る。

- a) 第 40 回動物臨床医学会記念年次大会の開催及び運営

日時：2019 年 11 月 15 日(金)~17 日(日)

場所：大阪国際会議場〔グランキューブ大阪〕大阪市北区中之島 5-3-51

- b) 学会長賞の設置

年次大会一般口演発表者を対象に、学会長賞を設置し授与する。

- c) 学会企画実行委員会の開催及び運営

・2018 年度年次大会終了後、22 分科会のうち、理学療法分科会及び、経営分科会を閉会とした 20 分科会に改編(別表 1)したため、2019 年度は 20 分科会で、年次大会の内容を分科会毎に企画立案する。

その内容の検討に際しては十分に獣医総合臨床認定医制度を考慮したものとする。

(別表 1)

（別表 1）

小動物分野	1. 神経分科会	10. 皮膚分科会
	2. 呼吸器分科会	11. 内分泌分科会
	3. 循環器分科会	12. 血液・免疫分科会
	4. 腎泌尿器分科会	13. 腫瘍分科会
	5. 生殖器・繁殖分科会	14. エキゾチックペット分科会
	6. 運動器分科会	15. 行動学分科会
	7. 消化器分科会	16. 感染症分科会
	8. 歯科分科会	17. 画像診断科会
	9. 眼科分科会	
野生動物分野	野生鳥獣分科会	
産業動物分野	産業動物分科会	
スタッフ分野	動物病院スタッフ・VT 分科会	
獣医学・医学関連分野		

- ・動物臨床医学会企画実行委員会の開催

- ・分科会 Award の設置

症例検討発表者を対象に、可能な限り分科会 Award を設置し授与する

- d) 購読会員の管理と把握（入会、退会）及び会員増強

購読会員（学会員）の減少が数年続いているが、その要因を検討し、各要因に対しそれぞれの対応策を実施する。その具体的な計画の 1 つが平成 27 年度に立ち上げた、「獣医総合臨床認定医」制度である。当制度をより確立するため、昨年に引き続き学会内容をより早期に決定し、その内容を広く周知して頂く対策をとる。

- e) 「獣医総合臨床認定医」試験問題作成委員会のもと、各分科会に試験問題作成を依頼する。

第 40 回動物臨床医学会記念年次大会において、獣医総合臨床認定医制度立上げより 5 年目を迎えるため、認定医試験受験者が現れることを想定して具体的な準備に取り組む。

- f) 動物臨床医学会誌の出版
  - ・年 4 回（3 月、6 月、9 月、12 月）出版
  - ・雑誌編集委員会の開催（年 1 回：動物臨床医学会開催時に合わせて）
- g) 動物臨床医学会年次大会プロシーディングの発行
  - ・No. 1：ベーシックセミナー，ステップアップセミナー，アドバンスセミナー，パネルディスカッション，クリニカルシンポジウム，企業・獣医師向けセミナー 等
  - ・No. 2：症例検討
  - ・No. 3：市民公開（特別講演，シンポジウム），一般口演，ポスターセッション，動物のいたみ研究会，小動物臨床栄養学研究会，人と動物の比較疾患研究会，動物遺伝子疾患研究会，企業主催セミナー，その他団体との共催セミナー 等
  - ・No. 4：動物病院スタッフ・VT 向けテキスト
  - ・No. 5：産業動物医学フォーラムテキスト
  - ・展示広告企業紹介冊子
- h) ActiBook CloudSuite（スターティアラボ㈱）を利用したプロシーディングデジタル版サービスの充実を図る
- i) 平成 27 年度（第 36 回動物臨床医学会年次大会）より、幅広い分野の臨床医を育成し、日本の臨床獣医学の発展・向上を図るとともに、人々がより高い水準の獣医療の恩恵を受けられる社会の実現を目指し、獣医総合臨床認定医制度を立ち上げた。  
昨年引き続き、取得者の確保に向けてポイント制度についての広報活動を行う。
- j) 合同カンファレンス（知の市場関連講座）抄録集の発行  
合同カンファレンス開催に合わせて発刊（年 10 回）
- k) 他学会、研究会等との連携及び運営支援  
積極的に動物臨床医学会との共催を奨励し、併せて他学会等との共催及び運営支援をする。
  - ・日本獣医内科学アカデミーへの共催（小動物臨床血液研究会）
  - ・日本獣医臨床眼科研究会との共催（第 40 回動物臨床医学会記念年次大会）
  - ・日本小動物歯科研究会との共催（第 40 回動物臨床医学会記念年次大会）
  - ・日本小動物内視鏡推進連絡会との共催（第 40 回動物臨床医学会記念年次大会、（公財）動物臨床医学研究所卒後教育セミナー）
  - ・NPO 法人野生動物救護獣医師協会（WRV）との共催  
（第 40 回動物臨床医学会記念年次大会）
  - ・日本獣医内視鏡外科研究会との共催（第 40 回動物臨床医学会記念年次大会）
  - ・日本獣医救急医療研究会との共催（第 40 回動物臨床医学会記念年次大会）
  - ・日本獣医動物行動研究会との共催（第 40 回動物臨床医学会記念年次大会）
  - ・一般社団法人日本動物看護職協会との共催  
（第 40 回動物臨床医学会記念年次大会）
- l) 獣医学術における功労者表彰  
選考委員会より推薦された獣医学術の向上、普及に著しく貢献する業績を

あげた者、及び優秀な若手研究者に対し、動物臨床医学会年次大会にて Animal Clinical Research Foundation Award (ACRFA) を授与し、表彰するものであり、我国の獣医学術のさらなる発展を図る事を目的とする。2019 年度も選考委員会より 2 名候補者の推薦を受ける。

m) 研究会等の開催・運営

獣医学知識の技術の高位平準化に向けて各種の研究会を開催する。

- ・小動物臨床血液研究会
- ・動物のいたみ研究会
- ・小動物臨床栄養学研究会
- ・人と動物の比較疾患研究会
- ・動物遺伝子疾患研究会

上記の 5 研究会は各研究会において独自に学会年次大会を中心に事業を計画立案し、当公益法人の一事業として運営する。

- 2) 獣医師、動物医療従事者の人材育成の推進のため、卒後教育セミナー、合同カンファレンス(知の市場関連講座)等を開催し、獣医師、動物医療従事者の研修受け入れを行う。
  - a) 獣医師、動物医療従事者の人材育成の推進のため、卒後教育セミナー、合同カンファレンス(知の市場関連講座)の開催
  - b) 獣医師、動物医療従事者等の研修受入れ
  - c) 海外からの特別招聘教授、客員研究員の受け入れ
  - d) 研究費補助金の拠出 (1 件 : 500,000 円×4 件)
- 3) 臨床獣医学研究の推進のため、診断及び内科的・外科的治療法の開発研究の推進
- 4) 海外との獣医学振興普及のため国際学術交流の推進  
本邦及び海外において、積極的に学術交流に努める
- 5) 講演会、学会への出席及び講師の派遣  
講演会、学会への出席要請や講師依頼があれば積極的に協力する

## 公益目的事業2

公衆衛生の向上並びに児童及び青少年の健全な育成を目的とする事業

- 1) 動物の愛護と福祉及び情操教育普及を目的とした、「人と動物の会」による“人と動物の未来センター・アミティエ（鳥取県動物愛護センター）”の事業を運営する。

本施設では、更なる充実を図ると共に、動物の愛護と福祉の精神の高揚を図り、将来、動物（犬・猫）の殺処分<sup>ゼロ</sup>を目標に活動を展開する。

- a) 動物愛護思想の向上と動物との共生を推進する事業

- ・里親制度の実施と里親講習会の開催
- ・鳥取県（中、西部）保健所、鳥取市（東部保健所）からの保護動物（犬・猫）の受入れ及び里親への譲渡活動
- ・動物の愛護と福祉に関するイベント（チャリティーコンサート、わんわん運動会、チャリティーゴルフコンペ、フェスティバル（しつけ方教室、保護動物とのふれあい、ペット無料相談 等））の開催。

- b) 動物福祉を推進する事業

- ・動物の訓化活動と、学外・課外研修及び実習等の受入れ
- ・施設視察、調査の受入れ
- ・施設見学の受入れ
- ・“人と動物の未来センター・アミティエ（鳥取県動物愛護センター）”の来場者数の把握
- ・“人と動物の未来センター・アミティエ（鳥取県動物愛護センター）”ドッグランの運営と管理
- ・疾病の予防、診断・治療

- c) 保護観察下における、青少年・少女の更生に寄与する事業

- ・昨年度に引き続き、鳥取県保護観察所からの保護観察下における少年・少女の実習受け入れ

- d) その他

- ・出版事業、販売事業
- ・“人と動物の未来センター・アミティエ（鳥取県動物愛護センター）”から里親に譲渡された猫の写真集の出版
- ・ボランティアの受入れ
- ・外部からの持ち込み企画の共同開催及び、外部企画への参加

- 2) 視覚障がい者の支援のため、盲導犬の育成支援を行う

- ・昨年度に引き続き、6号目の貸与に向けて準備を進める。

- 3) 獣医療の向上及び普及啓発のため、犬のしつけ方教室、市民相談コーナー、市民公開講座の開催及び情報提供を行う

- a) 普及啓発活動事業

- b) 犬のしつけ方教室の開催

- c) 市民相談コーナー、助言相談事業
  - d) 市民公開講座の開催
  - e) 写真展の開催
  - f) その他の活動
- 4) 学校飼育動物等動物介在活動の支援：幼稚園・小学校等及び公園等に対する飼育の指導・助言、公開講座、研修会等の開催
- 5) サポーター、フォスターペアレント制による入会金及び寄附の受入れ（東京事務所）、物品の寄付の受付（“人と動物の未来センター・アミティエ（鳥取県動物愛護センター）”）

### 公益目的事業3

#### 資料及び情報収集・提供事業

##### 1) 資料及び情報収集、ニュースレターの発刊

- a) 動物臨床医学に興味のある者をはじめ、一般の動物飼育者に対しても学術情報を提供する。また、研究員及び共同研究者より依頼のあった文献の提供。所蔵のない文献については、大学図書館等の文献相互利用システムを利用し、研究支援を行う。
- b) 研究員や関係者より希望のあった獣医学・医学を始めとした専門書及び雑誌については、資料情報収集の一環として、可能な限り購入を検討する。
- c) 野生動物友の会ニュースレター「Pinyo」の発行
- d) 心電図解説サービスの実施
- e) 購読会員向けニュースレター「ミューズ」の発行
- f) 人と動物の会会員向けニュースレター「アミティエ」の発行

##### 2) 情報等提供対応事業

- a) 本公益財団ホームページのさらなる充実を図る
- b) 学会誌「動物臨床医学」及び、動物臨床医学会年次大会プロシーディングをオンライン上の文献検索サイトに登録しサービス提供に努める。  
また、昨年度、アークレイ(株)との間で立ち上げたプロシーディングバックナンバーサマリー閲覧システムの充実を図る。
- c) J-STAGE での「動物臨床医学」の電子ジャーナル化の充実を図る

##### 3) 本公益法人と他機関・他団体等との情報交換

- a) 東京シンポジウムの開催（7月、3月開催予定）
- b) 皆様と公益財団法人動物臨床医学研究所との意見交換会の開催  
（於：倉吉市内）（2月開催予定）

## 公益目的事業4

地球環境の保全並びに自然環境の保護及び整備を目的とする事業

- 1) 野生動物の保護及び管理。自然復帰のための野生動物センターの維持・管理
  - a) 昨年度に引き続き、鳥取県との間に委託契約を結び、傷病・野生動物の保護、管理、治療に当たる。
  - b) 治療後のリハビリテーションと自然復帰への取り組みを行う。
  - c) 野生動物保護についての講演会を開催する。
  - d) 野生動物センターの維持・管理として、牧野内に山羊、羊等を飼育し、併せて幼稚園、小中学生の見学受入れに向けての管理に取り組む。
  - e) 鳥取県愛鳥週間ポスターコンクール及び、鳥取県野生動物すみかコンクール審査会へ審査員として参加。
  
- 2) 動物愛護及び情操教育のため、“人と動物の未来センター・アミティエ(鳥取県動物愛護センター)”の維持・管理
  - a) 里親制度の実施と譲渡講習会の開催
  - b) 飼養不可の犬・猫等（高齢動物・負傷動物等）の受入れ
  - c) 所有者不明の犬・猫等の保護
  - d) 犬猫等のしつけ方及び飼い方教室の開催
  - e) 動物のふれあい教室の開催
  - f) 動物の愛護と福祉に関するイベントの開催
  - g) 動物に関する相談コーナーの設置
  
- 3) 昨年度に引き続き、「人と動物の未来センター・アミティエ（鳥取県動物愛護センター）」周辺の荒れた山林を整備し、人（特に子供）と動物さらに自然と触れ合う里山整備に向けて準備を進める。
  - ・空地への花及び果樹等の植樹



## 収益事業1

公益目的事業の推進に資するために行う事業

- 1) 一般書、獣医学専門書等の出版及び販売
  - a) 一般書（獣医学関連書）の出版  
2016年11月より「倉吉ふるさと納税」贈呈品として公開開始。2019年度も引き続き公開。）
    - ・＜改訂版＞イヌ＋ネコ家庭動物の医学大百科
    - ・イヌ・ネコ ペットのためのQ&A
  - b) 獣医学専門書の出版
- 2) 学会出版等に付随する広告・展示の募集
- 3) 昨年に引き続きアミティエオリジナルカレンダーの発行

## 収益事業2

公益助成委託事業及び受託試験事業

- 1) 新薬開発に係る臨床受託試験
  - ・AIM (Apoptosis Inhibitor of Macrophage) タンパク質またはその変異体を用いた、動物用医薬品の原薬と、その対象動物を用いたパイロットスタディ
- 2) 新しい診断法及び治療法の開発に係る受託試験
- 3) その他の調査及び臨床試験

## 収益事業3

獣医師人材の派遣

- 1) 動物病院への獣医師の出向

## その他の事業

獣医総合臨床認定医制度

## 法人会計事業

- 1) 賛助会員の管理  
当公益法人の事業に賛同し、賛助会員に加入して頂いた個人及び団体の会員と情報を共有し、動物業界が一丸となり事業推進を図り事業の充実を目指す。
- 2) 「人と動物の会」チャリティゴルフコンペの開催
- 3) 懇話会の開催
- 4) 懇親会の開催